



有意義な夏休みを！

いよいよ、子ども達が楽しみにしていた夏休みが始まります。今週に入り、子ども達の気分は夏真っ盛り。楽しい計画を話し合っている姿をあちらこちらで見かけました。

お家でも、いろいろな計画をたてておられることと思いますが、夏休みは子ども達の自主自律を促すよい機会でもあります。子ども達にできるだけたくさんのお話をさせてください。そして家族や友達、地域の人とのふれあいを大事にしてください。けがや事故に気をつけ、夏休みならではの楽しい思い出をたくさん作ってきてほしいと思います。夏休み明けには、身も心も一回り大きくなった子ども達に会えるのを楽しみにしています。



夏休みを親子ふれあいの機会に

日頃は、なかなか親子のふれあいの機会を持つことが少ないことと思いますが、この夏休みは、家族ふれあいの場づくりをしていただければと思います。

子どもが言葉を覚え始めの頃、その言葉を何度も使って母親など周りの人に確かめようとしします。また、少し年齢があがると、自分が見聞きしたことについて「あれは何」「どうして・・・なの」と色々な質問をして親を困らせる場面も見られます。しかし、このことによって、子どもは語彙を増やし、知識をひろげ、「話し方」「聞き方」の学習をしながら人と人との交際の仕方を身につけていきます。ですから、この過程は子どもの成長に欠かせない大切なものです。

子どもは、年齢が低いほど相手の事情をあまり考えずに話しかけてくるものです。忙しいときでも平気で話しかけてくるものです。そのとき、大人が面倒くさがらないで、子どもの話を受け止めて、子どもの話をよく聞いてあげることが何よりも大切だと思います。同時に、どういう時に話しかけてはいけなかないかについて指導する必要があります。そのことによって、子どもは「話し上手」になるのです。

この夏休み、お忙しいこととは思いますが、子どもと目と目を交わし、子どもの悩みや相談ごと、日々のできごとなどを「聞き上手」で接し「話し上手」にしてやっていただければと思います。

夏休み中も「うがい・手洗い」の励行を！

県内の新型インフルエンザの感染者数は計45人（14日現在）となっています。この感染者数は増える傾向にあり、近隣の近江八幡市や彦根市でも感染確認がされています。

今後は、東近江市でも感染の可能性が高まっていることや、夏休みに入り、子どもたちの行動範囲が広まることによって、新型インフルエンザに感染することが懸念されます。

- ・休業中も「うがい・手洗い」を励行し、感染の防止に努めてください。
- ・「インフルエンザA型」または「新型インフルエンザ」と診断された場合には、学校へご連絡ください。

Photo News

フォトニュース



保育体験（6年）

幼稚園や保育園を訪問し、読み聞かせをしたり砂遊びをしたりして保育を体験しました。



山路川の探検（5年）



交通安全教室

東近江警察署の方から、自転車の安全な乗り方について学習をしました。



ドラゴンカヌー（6年）

ふるさと学習の一環として、伊庭内湖で能登川ならではの活動であるドラゴンカヌーを体験しました。



能登川清掃センターの見学（4年）



ゴーヤで緑のカーテン

今年も直射日光で室温が上がっている新校舎の1階から3階はゴーヤによって”みどりのカーテン”をつくりました。教室からみた景色は涼やかで、体感温度が下がっていることと思います。